

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科 俳優コース											
アクションⅢ											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	井上謙一郎			実務 経験	有	職種	殺陣師				
担当教員紹介											
<p>殺陣教室「殺陣工房」主宰 倉田アクションクラブ出身。殺陣師として舞台、映像作品にて殺陣・アクションの指導を行う。主な殺陣指導作品に、舞台：『蝉しくれ』 『太平洋序曲』『SAKURA - JAPAN IN THE BOX』『鷗外の怪談』 ドラマ：『妻は、くノ一』『陰陽師』など。</p>											
授業概要											
<p>この授業では、個人、パートナー、そしてグループでの作業を行います。与えられた課題にたいしてまずは個人で理解して実演、次に対戦パートナーとの実演で技術の正確性や理解度の確認、グループ作業ではメンバーによる客観的な意見を参考にしてそれぞれの個性や技術を活かしあいながら作品作り（ビデオカメラを使用）に取り組み、最後にそれぞれが感じたことコメントしていく。この授業で学んだこと（インプット）を学生自身が身体を使って表現し、意志や意見を伝えていくこと（アウトプット）を目指します。</p>											
到達目標											
<p>この科目では、学生が、殺陣（以降、アクション含む）の本質である（相手との）間合いや呼吸を理解すること、殺陣の危険性について理解すること、課題の殺陣を安全に表現出来ること、また課題の殺陣を的確かつ迫力あるよう観ている側に伝えること、学生たち自身で殺陣場面の演出・振付・実演できること、時代劇では台本に描かれている時代背景を読み解き所作や殺陣を使って表現できることを目標にしている。</p>											
授業方法											
<p>殺陣やアクションの基本技術や時代劇に必要な知識や所作を自身の身体を使って学ぶ。また授業内で実施した技を撮影し、映像で確認する</p>											
成績評価方法											
成果発表	50%	期末に行う実技発表会、内容について評価する									
小発表会	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
<p>この授業では、学生間・教員とのコミュニケーションを重視します。授業中の私語や受講態度、及び殺陣に伴う危険行為などには厳しく対応、理由のない遅刻や欠席、また実技の授業である故に許可のない見学も認めない（授業中の急な体調不良を除く）。授業時数の4分の3以上出席しない者は受講態度や実技の評価をすることができない。</p>											
教科書教材											
特になし											
回数	授業計画										
第1回	殺陣・アクションに必要な身体操作と本質（間合い、呼吸、伝え方）を理解し表現する										
第2回	殺陣① 時代劇に必要な基礎知識（刀、着付け、他）を理解、所作、刀を使った基本動作が出来る										
第3回	殺陣② 時代劇に必要な所作、刀を使った基本動作が出来る										
第4回	アクション① 受け身、格闘の基本動作が出来る										
第5回	アクション② 受け身、格闘の基本動作が出来る										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科 俳優コース	
アクションⅢ	
第6回	殺陣③ 打ち込み、型・座技（所作を伴う動き）、型・立技「四方斬り」が出来る
第7回	アクション③ 受け身、格闘の基本動作・型（前回の続きから仕上げまで）が出来る
第8回	殺陣④ お濠い（打ち込み、型2種）、立廻りの型が出来る
第9回	アクション④ 受け身、喧嘩の基本動作・型が出来る
第10回	殺陣⑤ お濠い（打ち込み、型2種）、立廻りの型が出来る
第11回	アクション⑤ 受け身、喧嘩の基本動作・型が出来る
第12回	殺陣⑥ お濠い（打ち込み、型2種）、立廻りの型が出来る
第13回	アクションの基本の復習と発表会用の作品作り
第14回	アクション発表会用の作品作り
第15回	アクション発表会用の作品作り
第16回	アクション発表
第17回	殺陣の基本の復習と発表会用の作品作り
第18回	殺陣の発表会用の作品作り
第19回	殺陣の発表会用の作品作り
第20回	殺陣発表